

公共交通機関を利用しての

東京オリンピック、パラリンピック観戦に向けて

山添 清

バリアフリーに関わる社会インフラはかなり進んで、体の不自由な方や車椅子使用者のみならずすべての人が快適に利用できる交通機関や施設が充実してきています。特に公共交通機関においては、駅構内には車椅子対応のトイレやエレベーターなどが設置され、車両には車椅子スペースが設けられているなど、車椅子使用者を対象とした諸設備が充実しています。また駅係員も至れり尽くせりの対応をしてくれます。

こうした状況を踏まえ、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの競技会場が集中する湾岸地区への車椅子でのアクセスを取り上げた。八王子を起点とした湾岸地区へのアクセスは、JR中央線と山手線を利用するルートと京王線と地下鉄を利用して、ともにゆりかもめに接続する二つのルートがあります。また、湾岸地区内の移動にはバスの利用も考えられます。

そこで湾岸地区へのアクセスルートに沿って実際に車椅子を使用する当事者がバス(バスは八王子市内での乗降状況)、電車、ゆりかもめのそれぞれの交通機関の利用状況を写真を多用したポスターで発表することとした。こういった具体的でわかりやすい情報を発信することで、外出の予備知識となり、実際に交通機関の利用を経験し慣れることによって、東京オリンピック・パラリンピック観戦につながることを期待している。

